

学校 教育 目標	「自ら学び、互いに認め合い、たくましく生きよう」 ○自ら考え、自ら学ぶ力を高めます。(知) ○自分の道を切り拓き、自己決定できる力を高めます。(徳・体) ○他との関わりを大切に、共に生きていこうとする力を高めます。(公・開)				
	創立 47 周年	学校長 福田 有志	副校長 岡澤 貴雅	3 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 7
学校 概要	児童生徒数: 509 人 主な関係校: 汲沢小学校(小中ブロック)、葛野小学校(小中ブロック)、深谷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汲沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	・汲沢小学校 (戸塚区) ・葛野小学校 (泉区)	「自ら学び、社会とつながり、互いに高めあう子」 ○中学校を中心として異なる区、方面事務所の関係である小中間及び小小間の情報交換を丁寧に行い、児童生徒支援・指導上の諸課題の解決を図る。 ○市学習状況調査や全国学習状況調査などについて、小中合同の教科ごとの研修を深め、課題を明確にして解決に向け協議する。 ○特別な支援を必要とする生徒の理解を深め、小中の連携を一層深める。 ○スムーズな運営ができるよう管理職の関係を良好なものにする。

中期 取組 目標	○「誰もが」「安心して」「豊かに」生活を送れるような学校づくりをさらに推進します。 ○生徒一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、生徒が意欲的に取り組む学校づくりを推進します。 ○規範意識を育て、望ましい生活習慣を身につけさせる学校づくりに努めます。 ○家庭や地域へ向けて適時情報発信に努めます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教科主任会 ○学習支援部</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	教科主任会 ○学習支援部	①校内授業研と小中一貫教育推進ブロックの授業研究において積極的に授業公開し、小中のつながりを意識した授業改善を図る。②数学・社会・英語・技家・保体において少人数やTT授業を実施し学力定着を図る。③生徒の意識調査として各教科の授業アンケートを実施し、教師の授業改善を図る。
知	授業改善				
担当	教科主任会 ○学習支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活 人権 ○学習支援部</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	特活 人権 ○学習支援部	①生徒主体のボランティア活動・募金活動・エコキャップ運動・挨拶運動などを通じて心の育成を目指す。②人権講演会・国際理解教育・横浜子ども会議・人権作文等に取り組み人権意識の向上に努める。③職場体験・職業講話等を通して社会性を身に付ける④道徳の授業を中心とした話し合い活動や、作品や展示発表など交流する機会をもつことで、互いを認め合い視野を広げようとする心を育み、コミュニケーション能力の向上を目指す。
徳	道徳教育				
担当	特活 人権 ○学習支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生徒保健支援部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	生徒保健支援部	①保健委員会生徒を中心とし、食の生活習慣について知識が行動化となるように取り組んでいく。②新体力テストの結果を体力づくりの運動に効果的に活用する。③年間を通し、授業時にランニングやサーキットトレーニングなどを実施し、体力向上を図る。
体	健康教育				
担当	生徒保健支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td style="background-color: yellow;">自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習 ○特活支援部</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育	担当	学習 ○特活支援部	①総合的な学習の時間でICT機器を活用することにより、問題解決能力や情報活用能力を育成させる。②1年での福祉体験、職業講話、2年生での職場体験、3年生の進路選択を通して自分の生き方について考えさせる。③教科横断的な学びの実施に努める。④各体験を通し社会に通じる言葉使いや態度などのマナー、社会性を身につけさせる。
公開	自分づくり教育				
担当	学習 ○特活支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①「いじめはどの学級にも起こりえる」という認識を全ての教職員が持つ。②いじめを絶対に見逃さない体制づくりのために「いじめに関するアンケート」と「YPアセスメント」をそれぞれ年2回実施し、早期発見解決に努める。 ③いじめに対するアンテナを高くし、些細なことも拾い上げて、いじめ認知を積極的にやっていく。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部 ○メンター</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部 ○メンター	①メンターチームの会合を年6回開き、若手人材育成の一助とする。研修には中堅教諭や主幹教諭が積極的に参加して研修を深める。②学校の状況に合わせた教職員組織の改善や適材適所の役割を設定して、学校運営の活性化を目指す。③年度末反省を活かして様々な意見を集め、教職員の働き方改革を実施する。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部 ○メンター				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>管理職</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	管理職	①年間2回(6月,3月)の学家地総会と年間4回(6,9,12,3月)の学校運営協議会を活用し、4連合町内会と学校の相互の理解や連携の発展を図る。②学校評価をもとに、今後の学校運営の活性化に地域から助言をもらう。また、内容等を精査・判断し、必要であれば教育委員会へ「意見書」の提出を考える。③学習ボランティアを募り特別支援教育の充実を目指す。
地域学校協働活動					
担当	管理職				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童生徒指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生徒保健支援部</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	生徒保健支援部	①生徒指導と特別支援の観点から研修を行い、個人や学年としての生徒指導体制を確立を図る。②普段からの会話やY-Pアセスメントを通してより深い生徒理解に努める。③教育相談や保護者面談等を活用し、保護者とのよりよいコミュニケーションを図る。
児童生徒指導					
担当	生徒保健支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援教育委員会	①学習環境のユニバーサルデザイン化の浸透、実践する。(教室環境の配慮、授業者による配慮、教材・教具の工夫、授業形態の工夫など)②試験問題作成時の配慮(文字、レイアウト等)を実践する。③配慮を要する生徒への放課後支援教室とサポートルーム内容の充実化を図る。
特別支援教育					
担当	特別支援教育委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">教室環境整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>○情報 生活保健支援部</td> </tr> </table>	教室環境整備		担当	○情報 生活保健支援部	①各教室の保管庫にある情報端末機器を整備し、適切に管理を行う。また、各教室の通信システムを充実させる。②ゴミの削減や分別の必要性および清潔な学習環境の大切さについて発信し、生徒が環境を意識した生活を送ることができる力の向上と継続を図る。
教室環境整備					
担当	○情報 生活保健支援部				